

2009 年度大会講演要旨集 正誤表

卷頭 11 ページ :

5 階地図時間 (誤) 3/28 18:00~ ミキサー → (正) 3/28 18:30~ ミキサー

関連 3 ページ :

JP16 演題 (誤) 鳥取産ミミズとその生息環境 → (正) 閉鎖生態系の研究
 JP16 演者 (誤) 杉本宗世、辻 悟志、護田寛之、安木崇明
 → (正) 岸田紀子、廣田未奈、都宮理奈子、中岩智美
 JP16 顧問 (誤) 亀崎沙耶花 (理科・生物) → (正) 清水雅幸 (理科・化学)
 JP18 顧問 (誤) 大城伸明 (生物) → (正) 大城伸明 (化学)

関連 4 ページ :

JP32 演題 (誤) 光触媒を用いた水質浄化Ⅲ～再生纖維に TiO₂ を担持させる方法の可能性～
 → (正) 光触媒を用いた水質浄化Ⅲ～再生纖維に TiO₂ を担持させる方法の可能性～

関連 5 ページ :

JP42 顧問 (誤) 大城伸明 (生物) → (正) 大城伸明 (化学)

291 ページ :

3P0998B (誤) 要旨漏れ →
 (正)

3P0998B リボソーム生合成に関わるタンパク質ビスチンのヒトがん細胞における制御機構の解析
 ○三好 雅也、岡島 徹也¹、福田 道子²、松田 幹、灘野 大太
 (名大院生命農・応用分子生命科、¹名大院医、²Burnham Inst. Med. Res.)

〔目的〕ビスチンは細胞増殖が亢進する際に機能することが示唆されるタンパク質である。我々はヒトがん細胞におけるビスチンのリボソーム生合成への関与を明らかにし、解析を進めている。ビスチンの細胞内における制御機構を解明するため、相互作用タンパク質の探索を行なった。〔方法と結果〕HeLa 細胞における細胞質リボソームのショ糖密度勾配超遠心法による分画で、ビスチンは小サブユニット画分に存在したが、翻訳が進行しているポリソームには存在しなかった。また、細胞質においてビスチンと相互作用するタンパク質を GST プルダウン法および質量分析により解析し、小サブユニットのリボソームタンパク質が複数同定された。よって、ビスチンは生合成の最終段階にある細胞質リボソーム小サブユニットに結合することが示された。リボソーム生合成は mTOR に制御されるので、ラパマイシン処理を試みたところ、細胞内のビスチンタンパク質レベルが有意に低下し、ビスチンが mTOR を介し制御されることが示唆された。

シ 9 ページ :

2SY11-3 演者所属 (誤) (鹿児島大農) → (正) (京大院農)
 2SY11-4 演者所属 (誤) (京大院農) → (正) (鹿児島大農)

ラ 3 ページ :

LS-17 場所 (誤) 国際会議室 (501) I 会場 → (正) 国際会議場 (201) A 会場